

# 嘉手納へりも緊急着陸

## 5日北部 墜落事故後相次ぐ

米軍嘉手納基地所属のH60救難ヘリ1機が5日夕、国頭村と東村にまたがる米軍北部訓練場内に緊急着陸していたことが分かった。同基地は7日、本紙の取材に「予防着陸したが、比較的軽微な性質のもので、人的・物的損害の危険性は確認できなかった」と説明、着陸の理由など詳細は明らかにならなかった。同機は6日午後、嘉手納基地へ戻った。

同訓練場内のヘリパッド移設に反対する「ヘリパッドいらぬ住民の会」の斉藤織恵さん(33)＝東村高江＝は「当初はどこに緊急着陸したか分からず右往左往した。生活が脅かされている」と不安感を募らせる。緊急着陸があった時間帯

に、メインゲート付近に軍用犬を連れて現れた迷彩服の米兵1人に「ノーアクション」と言われたという。「F15戦闘機が国頭村沖に墜落後も不備が続いている。うかうか生活しては行かない。本当になくなってほしい」と話した。

空軍は2日後の30日、事故原因を明らかにしないまま、「点検が終了した」と説明し、飛行を再開したものの、直後に1機が嘉手納基地に緊急着陸した。その後5月31日、今月6日にもF15戦闘機が滑走路のワイヤに機体後部の緊急着陸用フックを引っかけて停止。墜落後の緊急着陸は4回目となった。

## ハリアー緊急着陸 嘉手納

【嘉手納】7日午前9時ごろ、米軍嘉手納基地にA V8Bハリアー攻撃機1機が緊急着陸した。

同機は午前8時43分ごろ

離陸、約15分後に海側から進入し、南側滑走路に着陸した。消防車両3台が出勤し、同機は約10分後に自走して駐機場に戻った。

同基地にはこの日、山口 闘攻撃機ホーネット数機が県の岩国基地からFA18戦 飛来。7日までに計10機の

飛来が確認されている。